

TO
□
□
□
□

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	電圧		250V AC			使用温度範囲		-30℃ ~ +85℃ (注1)			
	電流		2A			保存温度範囲		-10℃ ~ +60℃ (注2)			
性能											
	項目		試験方法			規格			QT	AT	
構造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致すること。			○	○	
	表示		目視にて確認する。						○	○	
電気的 性能	接触抵抗		100mA (DC又は1000Hz) で測定する。			30mΩ以下			○	—	
	絶縁抵抗		DC 500Vで測定する。			1000MΩ以上			○	—	
	耐電圧		AC 650Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	—	
機械的 性能	繰り返し動作		30回の抜き差しを行う。			①接触抵抗：30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	耐振性		周波数10~55Hz、片振幅0.75mm、 3方向 各2時間試験する。			①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	耐衝撃性		加速度490m/s ² 、持続時間11ms、 正弦半波3方向 各3回試験する。			①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
環境的 性能	定常状態の耐湿性		温度+40±2℃、湿度90~95%の条件で、 96時間放置後、試験する。			①接触抵抗：30 mΩ以下 ②絶縁抵抗：500MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	温度サイクル		温度 -55 → +5~+35 → +85 → +5~+35℃ 時間 30 → 5~15 → 30 → 5~15分 を5サイクル 試験する。			①接触抵抗：30 mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	半田耐熱性		【70-半田付けの場合】 半田温度 260±3℃、 浸漬時間 10秒間の半田付けを行う。 【手半田の場合】 半田ごてで290±10℃、3秒の条件にて 半田付けを行う。 但し、端子に無理な負荷をかけないこと。			外観の変形及び端子等に著しいガタがない こと。			○	—	
	半田付け性		半田温度 245℃、 浸漬時間 10秒間の半田付けを行う。			半田浸漬面の95%以上が新しい半田で濡れ ていること。			○	—	
備考											
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。						製図		設計	検図	承認	出図
(注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温度範囲を適用。						NC 04.5.11 松本		NC 04.5.14 梅原	NC 04.5.20 小間	NC 04.5.20 小間	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 DF11-8DS-2DSA (05)					
旧CL CL			図番 SLC4-080246-02			製品コード CL543-0554-1-05			1 1		